

(様式1)

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和6年 1月12日提出

国保依田窪病院院長
倫理委員会委員長 様

申請者
氏名 返町利美
所属 手術室
職名 看護師



※ 受付番号 No.

1. 課題名	眼科手術における 看護業務のタスクシフト/シェアによる効果
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他 (院内研究発表会)
3. 実施 責任者名	返町利美
4. 実施 分担者名	下林裕美 山口明
5. 医療の概要	実施期間 令和5年 4月 ～ 令和5年 10月まで 概 要 聞き取り調査
6. 医療の対象並 びに実施場 所	対象例数 医療対象 手術室看護師、視能訓練士、看護補助者 実施場所 手術室
7. 実施計画書	
8. 医療における 倫理的、社会的配 慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他
9. 審査資料	☐ 実施計画書 ☐ その他 ☐ 同意説明文書及び同意書

- 注意事項
- 1 ～ 5 は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。
 - 2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。(別添資料添付漏れのある場合審査できません。)
 - 3 ※印は記入しないこと

研究計画書

当院眼科手術における、看護業務のタスクシフト/シェアの取り組み

手術室 返町利美 共同研究者：下林裕美、山口明

研究概要



研究の目的

医師と看護師の負担の軽減
効果的な業務実施体制の構築と、各職種の専門性の向上
患者に必要な医療と看護を安全かつタイムリーに提供する

研究の背景と根拠・意義

医療機関において医師の働き方改革が進められる中、患者に必要な医療を安全かつタイムリーに提供できることが不可欠である。そのためには、医療関係職種がそれぞれの専門性を発揮し、効果的な業務実施体制を構築することが必要となる。（日本看護協会ガイドラインより）

当手術室では人員不足のため眼科担当看護師が1人になることがあり、医師の診療補助をタイムリーに行えない、患者ケアに専念できない等の状況がある。

看護業務を整備し、タスクシフト/シェアにより看護師・ORT・看護補助者による業務実施体制を作ることができたので、報告する。

研究対象

眼科担当看護師、ORT、看護補助者

観察・調査・検査項目と方法

- 1) 看護業務内容の整備
看護師が行うべきこと、他職種へシフト・シェアできること（業務範囲）役割を明確にし、マニュアルを作成
話し合い、指導により理解を深める

- 2) タスクシフト/シェアの実施
- 3) 手術終了後、タイムリーに振り返りを行い、業務内容の検討・修正
- 4) 聞き取り調査にて担当者から取り組みについての意見を聴取
- 5) 今後の課題を抽出

研究期間

令和5年4月～令和5年10月

評価項目

医師・看護師の負担がどのように軽減したか
各職種の意識・行動変容内容

データ収集方法

取り組み前後の看護業務内容を比較する
調査用紙を作成し、聞き取りにて聴取する

倫理的事項

患者に提供する医療の質を下げることなく実施できる